

赤野 清隆

昭和52年8月17日生
鹿児島県鹿屋市出身



略歴

10歳より民謡・三味線を 地元の 上玉利 三司 (かみたまり みつし) 師に師事

高校卒業後上京 三味線演奏家 故 千藤 幸蔵(ちふじ こうぞう) 師に内弟子として師事

帰郷後は 演奏会 舞踊会などの舞台出演やレコーディング
テレビ ラジオ放送 後進の育成 幼稚園 小中学校に於ける
邦楽体験教室 芸術鑑賞教室等 また市民講座の講師として指導にあたる

長年のライフワークとして 鹿児島県内の埋もれた民謡を発掘し
復曲するため 県内各地を 訪ねて取材を行ない また廃盤となった
レコードなど音源資料も多数収集し 編曲して復曲 普及のための
譜面化に取り組んでいる

平成22年5月には かごしま県民交流センターに於いて それまで
収集した曲の研究成果 を発表するリサイタル
『赤野清隆乃會～甦るかごしまの唄～』を開催

現在は東京と鹿児島を拠点とした演奏活動と並行し 鹿児島稽古処
(鹿児島市・鹿屋市他)での 教授活動も行う